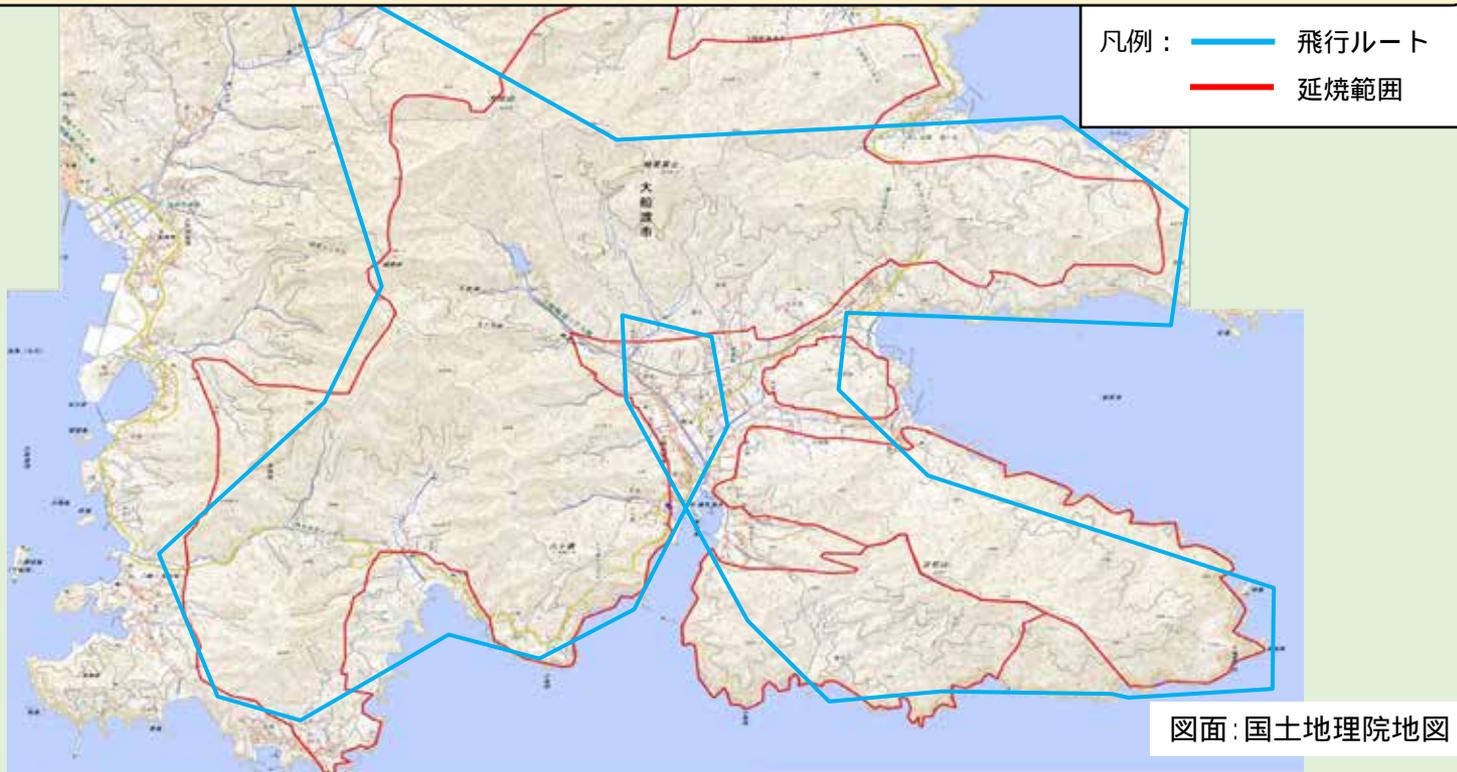


1. 調査年月日：令和7年3月12日（水）
2. 調査場所：岩手県大船渡市林野火災延焼範囲（位置図赤枠内）周辺
3. 調査実施機関：林野庁・岩手県のメンバーで2回に分けて実施
4. 調査結果の概要

- 樹冠火が発生し樹木が焼損したと推定される箇所は、三陸町綾里小路地区（位置図 周辺）の谷筋に沿って大規模なものが見られ、その他谷筋や斜面上部などで局所的なものも確認された。樹冠火が発生した箇所は、谷筋を火が駆け上ったように見えた。
- 樹冠の葉が熱により変色していると推定される箇所や、植えたばかりの造林地とみられる箇所の焼損も確認された。
- いわゆる地表火も樹木の生育に影響を与えていると言われているが、その範囲については上空からは確認できなかった。
- 森林の再生に向けて、専門家や消防庁など関係機関に協力いただきながら、火災の特徴や樹木への被害の程度等詳細な調査を実施する予定。



令和7年岩手県大船渡市の林野火災における森林被害調査（ヘリ調査）の結果



りょうり こじ

三陸町綾里小路地区

樹冠火が発生し谷筋から斜面上部にかけて大規模に焼損が発生したと推定される箇所。下部尾根には焼損しなかったものの焦げ茶色や黄色に変色したと推定される樹木が確認された。



りょうり たはまかみ

三陸町綾里田浜上地区

局所的な樹冠火が発生し焼損したと推定される箇所。周囲にも熱により焦げ茶色や黄色に変色したと推定される樹木が確認された。



りょうり たはまかみ

三陸町綾里田浜上地区

若齢の造林地とみられる区域（赤枠部）において植栽木が焼損したと推定される箇所が確認された。
落葉広葉樹林の樹冠火による被害は確認できなかった。

(参考) 地上からの撮影



地表火による落葉広葉樹林の焼損
樹冠火が発生していない落葉広葉樹林において、地表や樹木の根元付近が焼損している。
地表火による被害の把握のためには、さらなる調査が必要。